

安全のためのガイドライン

みんなが安全に安心して過ごすために…



「いけないことはいけない。」
「危ないことは危ない。」と
誰でも注意しましょう。
周りをしっかり見ましょう。

2024年4月1日

学校法人 野毛山学園 野毛山幼稚園

主 旨

教職員、保護者、地域の人たちが共通理解を持って、園児(子どもたち)の安全確保のために必要なことを守り、協力し合い、子どもたちが安全に生活できるように努めていきましょう。

園内出入口について

- ①礼拝堂側のカエルの門は正門、バス通り側の門は裏門です。
登園はカエルの門のみです。
(降園の保護者のお迎えは裏門を利用できますが、引き取り後は、正門を利用します。)
- ②安全確保のため、保育時間内は必ず両方の門のカギを閉めます。
遅刻・早退・その他園に用事がある場合は、保護者がインターホンで呼び、クラス・名前をはっきり伝えてください。

通 園

- ①通園路は他の歩行者や自動車の往来が多く危険です。
園児がひとりでいたり、友だちと一緒に走っていたりしないように、保護者が常にそばにいて十分気をつけましょう。
危険ですし、まわりの人の迷惑になることもあります。
また、可能な限り手をつないで歩くようにしましょう。
- ②通園ルートは家庭の判断で決めて常にその道を通って通園するように心がけましょう。
- ③自家用車での通園は、家庭の責任ですが、迷惑駐車、危険な運転をした場合、幼稚園に連絡が来ます。ルールを守ってお願いします。
園児のケガや急な病気、家庭の事情等で一時的に自家用車通園を希望する場合は、園で柔軟に対応します。
- ④朝の登園時、できる限り坂の下で迎えます。
職員がいる場合は、その地点から保護者は園児を見送っても結構です。
- ⑤決められた人以外の迎えの場合は、必ず誰が迎えに来るのかを伝え、保護者証を必ずかけてください。
- ⑥早退する場合は、事前に園へ連絡してから迎えに来てください。
- ⑦教職員は家庭からの迎えを必ず確認してから、確実に園児を引き渡します。
- ⑧通園途中、園児から目を離さないように気をつけてください。

災害等への園での体制

- ①教職員は、その日の園児の出席状況をきちんと把握し、事務室に報告します。園で作成している安全カリキュラムにそって安全指導をし、時期に応じて、保育内で地震や火事、台風などの災害について話をして定期的に避難訓練などを行います。
- ②家庭でも災害について話し合い、家庭にいる時に地震が起こったらどうするか、考えておくこと、訓練しておくことも必要です。

◇反射的な訓練が必要です。

どうして〇〇する必要があるのかをよく考え、屋内でも隠れる場所がない場合は、窓など割れるものから離れる、屋外にいた場合は、かばんで頭を守り、狭い路地やブロック塀から離れる等、それぞれの場所において better…より良い逃げ方を考えましょう。

幼稚園で…

シェイクアウト訓練では…

①DROP! まず低く! ②COVER! 頭を守り! ③HOLD ON! 動かない!

保育室にいる時は…

テーブルの下にもぐります。テーブルの脚をしっかり持ってテーブルが動かないようにし、おしゃべりしません。

屋外・その他の場所では…

しゃがんで体勢を低くし、手を頭に小さくなります。

揺れがおさまったら、園庭に避難します。(火災の訓練含む)
教職員は持ち出しグッズを持ち、人数確認をして報告!



おさない

かけない

しゃべらない

もどらない

ちかよらない

幼稚園の門近くの物置は備蓄庫です。

発電機、トイレ、水、簡易的な食糧 その他 備蓄しています。

家庭でも非常用に「あるといいもの」を考えてリストにして、用意しておくよう心掛けましょう。

◇災害時、保護者の方は、自分の安全を確保してからお迎えにいらしてください。電話が通じない場合もあると思いますが、幼稚園ではお迎えまで責任をもってお預かりしています。

園児への安全指導

- ①教職員は、遊具・道具の正しい安全な使い方を指導し、また、園生活のルール、約束事をしっかり伝え、怪我なく安全に過せるようにつとめます。
- ②ランドセルを背負ったまま遊ばないようにしましょう。

天候悪化の場合

- ① 天候悪化等によって臨時休園とする場合は、れんらくアプリで連絡をまわします。(連絡に気をつけてください。)

台風の場合、大雨・暴風のいずれか警報が出ていて危険とみなされる場合、または警報が出ていなくても危険とみなされる場合は**休園**とします。

(但し、危険性、予報を考慮し、それ以前に判断することもあります。また、天候が回復傾向にある時はその旨考慮いたします。)

自由登園の場合でも、欠席の場合は必ず園に連絡をしてください。

- ◇ 登園後、天候が著しく悪化した場合や天候悪化が予想される場合は、各家庭の判断により迎えを早める等の措置をとることがあります。天候の悪い場合、れんらくアプリが来るかもしれないことを気にしててください。



自転車通園での注意事項

- ・ **まず自転車のルールを知りましょう。一方通行は逆走できません。**
- ・ **道路交通法に基づき、安全に注意して通園してください。**
- ・ 公園内は自転車に乗って走ることはできません。
- ・ **駐輪禁止の場所や私有地には自転車を駐輪しないでください。**
- ・ 幼児には必ずヘルメットを着用させ、紐やマフラーなどがひっかからないようにご注意ください。2023年4月よりおとなのヘルメット着用は努力義務になっています。
事故のないように注意しましょう。
- ・ 自転車に乗るまで、また、降りてからは、幼稚園の帽子をかぶり、ランドセルをきちんと背負うようにしましょう。
- ・ 自転車を駐輪する場合、出やすいように白い柵内に同じ向きに揃えてください。
また、風の強い日は自転車通園は避ける等して気をつけ、また駐輪の時に倒れないように気をつけてください。

自転車は、車道を通行する場合は左側を通行です

自家用車通園・自家用車を利用することのある方へ

<最低限の心得として>

常に徒歩通園者に危険を感じさせることなく、安全と保護に最大限の配慮を行い、これを維持する義務と責任の意識をもって運転してください。

その他、別項目の注意事項をよく読み、事故はもちろん、トラブルがないように気をつけましょう。

注意事項

◇登園

- 職員が坂の下にいる場合は、老松中学付近でUターンして職員の前で降ろすようにしてください。

(但し場合によってはUターンせずに降ろすようにします。)

所定の場所に職員がいる場合は、そこからは園児だけで幼稚園へ行くことができます。

(職員がいない場合は、必ず門のところまでおくってください。)

- 徒歩・自転車通園者が多い時間帯(8時45分～9時15分)は車の出入りができません。事情により、車を入れた場合は、人が少なくなったのを確認してから出るようにお願いします。
(詳しくはお聞きください)

◇降園

- 道路に駐車をして迎えに来ると、違反になりますし、迷惑です。**近隣の公共駐車場を利用するようにしてください。**具合が悪くなって早くお迎えにくる場合など、必要なときは指定時間外でも園内に乗り入れて結構です。

(事情で園内に入られる場合は降園時間を避けていただいていますので詳しくはお聞きください)

- ◇幼稚園にはいる坂は必ず徐行でお願いいたします。

(この坂は幼稚園の敷地ではなく、公道です)

(また、礼拝堂の裏の道は隣地の敷地です)

- ◇課外教室のお迎え、こひつじのお迎えは十分気をつけてくださいますようお願いいたします。

- ◇課外教室のお迎えは園庭で待つようにしてください。引き渡し後は近隣の迷惑にならないよう速やかに帰宅しましょう。

- ◇降園後、公園等で遊ぶ場合は、決められた場所に駐輪し、公共のルールを守って過ごしましょう。
- ◇幼稚園の用事にて保育時間中に園内に駐車をする場合は、お申し出ください。駐車は駐車場内にしてください。
(門の前には停めないでください)
- ◇事情のある場合等はお相談ください。
- ◇老松中学門前と老松住宅内、また、近隣の家の前には絶対駐車しないでください。
- ◇下のお子さんを車に乗せたまま、車を離れるようなことは絶対になさ
いませぬようお願いします。下のお子さんが寝てしまったりして車を
離れることができない場合はご連絡をいただければ、その都度対応い
たします。また、時間をずらせば中に入ることができますので、ご相
談ください。
- ◇園内の駐車場は、登降園や幼稚園、教会への用事がある場合のみ利用
することとし、園外へ出かける際には利用できません。
- ◇雪が降った場合は、路面凍結などの危険がありますので、自家用車
での通園はやめましょう。
幼稚園は高台にあるため、坂道が多く、とても危険です。
- ◇その他にわからないことがありましたら事務室にお申し出ください。
園側もスムーズにできるよう、気をつけ、いろいろ考えていきますの
で、ご意見がありましたら、ご遠慮なくお申し出ください。
事故はもちろんのこと、トラブルがないよう、皆さんのご協力をお願
いいたします。
なお、ルールを守らない方がいらした場合には、自家用車通園はご遠
慮いただくことがあります。



大切なこと

親子で一緒に歩きましょう…

- ◇保護者は、手をつないで一緒に歩きましょう。
スマートフォンを見ながら、電話をかけながらの歩行は絶対にやめましょう。安全のため基本的に保護者が道路側を歩きましょう。季節を感じながら通園することはとても素晴らしいことです…
- ◇ベビーカーなどを押しながらなど、手をつないで歩くのが困難な場合、並行して歩くか、保護者が後ろから見守るように歩かようにしましょう。
- ◇保護者同士が話をしている、子どもから目を離さないようにしましょう。
- ◇狭い道は、広がらずに歩き、他の歩行者の迷惑にならないようにしましょう。
声をかけたり、挨拶したりして、お互い気持ちよくできるようにしましょう。



緊急連絡について

- ◇本園では、緊急な場合など園からの連絡は配信をしています。こちらで既読が確認された場合は、きちんと読んだと判断します。わからない場合、不安な場合は園に確認をとったり、他の保護者に聞くなどしてください。